2019年度　観光客夜間消費拡大促進事業、DMO活動推進に向けたマーケティング強化事業

『ナイトタイムエコノミー及びインバウンドマーケティング』セミナーのご案内

● 日時　・旭川会場　令和2年2月18日(火)　11:00～16:00
場所　OMO7 旭川星野リゾート（旭川市6条通9丁目）

・札幌会場　令和2年2月19日(水)　11:00～16:00
TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前（札幌市中央区北4条西6丁目1　毎日札幌会館5階）

● 主催　公益社団法人 北海道観光振興機構

午前の部のインバウンドマーケティングセミナーは、訪日外国人来道者の増加に向けて、台湾、韓国、タイ、シンガポールの4市場を対象に取り組んだ「市場分析レポート」「ビッグデータを用いた動態分析」「海外OTA活用による検証」の3テーマの講演を行ないます。
「市場分析レポート」はhttps://www.visit-hokkaido.jp/company/material/detail/95から概要版がダウンロードできます。

午後の部①のナイトタイムエコノミーセミナーは、道内を訪れた訪日外国人観光客の夜間観光の実態と、今後の可能性についての調査・分析結果の報告、基調講演、ワークショップ等を通じ、道内での夜間観光消費の拡大を図ることを目的として行います。
午後の部②のディスカッションは、ターゲット分析の共有や打ち手の検討等、4市場の深堀りをします。

● プログラム

10:30	受付開始
11:00～12:00	**午前の部　インバウンドマーケティングセミナー** ● **訪日外国人来道者の増加に向けた市場分析レポートについて** 講師：有限責任監査法人トーマツ　米森 健太 氏 ● **ビッグデータを用いたインバウンドの動態分析について** 講師：㈱ナビタイムジャパン　小竹 輝幸 氏 ● **海外OTA活用による検証結果について** 講師：㈱北海道博報堂　山岸 浩之 氏
休憩	13:00～　受付（午後の部のみ参加者）
13:30～16:00	**午後の部　①** **ナイトタイムエコノミーセミナー** **ナイトタイムエコノミーについて** ● 来道外国人観光客の夜間観光の実態・意向調査結果について ● 国内の先進地事例のご紹介 **【基調講演】** **●夜間観光の促進について ～地域に宿泊する魅力のつくり方～** 講師：㈱JTB総合研究所 山下 真輝 氏 **【ワークショップ】** グループに分かれてのディスカッション

午後の部は、①、②から選択し、お申し込みください。

午後の部からのお申込みも可です。

午後の部　②
インバウンドマーケティングセミナー

ディスカッション
誘客マーケティングに関するテーマと対象市場を深堀りします

※申込先着順8名様限定
※午後の部①とは別会場
※90分予定

(公社)北海道観光振興機構 地域観光部　（ナイトタイム担当）　稲村　☎011-231-2900
(公社)北海道観光振興機構 マーケティング部（マーケティング担当）　津田　☎011-231-6736
＜業務受託会社＞㈱JTB北海道事業部(事務局運営)　mail:yakan2019@jtb.com ☎011-271-7024

講師プロフィール

インバウンドマーケティングセミナー講師
有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザリー事業本部 パブリックセクター
シニアマネジャー 公認会計士　米森 健太 氏

デロイト トーマツ グループの観光・DMO関連サービスのリーダーを務め、観光庁のほか、北海道観光振興機構、せとうちDMO、大阪観光局等に対するアドバイザリー業務を多数務めている。観光振興に関する計画・ 戦略策定のほか、DMOが取り組むマーケティングに関するアドバイザリーや、消費拡大のためのコンテンツ開発戦略、来訪者の満足度向上のための受入環境整備、MICE関連の業務経験を有する。官民連携による地方創生を軸とした活動を行っている。

インバウンドマーケティングセミナー講師
株式会社ナビタイムジャパン 交通コンサルティング事業部
チーフデータアナリスト マネージャー　小竹 輝幸 氏

2015年、株式会社ナビタイムジャパン入社。
ナビゲーションサービスを通じて培ってきたユーザー基盤・データ・技術をもとに、インバウンド観光や交通に関する様々なビッグデータを活用したコンサルティング業務に従事。
全国の地域活性化や交通最適化に携わる。

インバウンドマーケティングセミナー講師
株式会社北海道博報堂 コミュニケーション戦略局 局長 兼 マーケティング部 部長
新どさんこ研究所 所長　山岸 浩之 氏

東京の広告代理店を経て2014年より北海道博報堂に在籍。
2016年に北海道民の未来像や未来の生活を予測する「新どさんこ研究所」を設立、所長に就任。道内外の商品・ブランド戦略立案を担当。インバウンドマーケティング、リサーチ全般も手掛ける。6次産業化セミナーにも登壇、北海道の素材を生かした商品開発にも関わる。
UHB「みんテレ」ゲストコメンテーター。

ナイトタイムエコノミーセミナー講師
株式会社JTB総合研究所 交流戦略部長
主席研究員　山下 真輝 氏

全国各地の観光地域づくりや６次産業化に関するシンポジウム・セミナーにおける講演活動や観光人材育成講座の講師、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構における観光地域づくり委員会委員長など観光分野の各種委員を多数務めている。内閣官房地域活性化伝道師として全国各地の観光振興のアドバイスを行っている。

(参考資料)訪日外国人来道者の増加に向けた市場分析レポート

「北海道新聞　令和元年11月21日付　朝刊」

韓国・台湾　友人同士／タイ・シンガポール　家族連れ

来道外国人　傾向を分析

道観光機構、誘客対策も

北海道観光振興機構は、韓国、台湾、タイ、シンガポールの来道観光客の誘致に向けた、市場分析リポートをまとめた。観光事業者や市町村に対策検討の際の参考にしてもらう狙い。台湾からは20～30代の女性が友人同士で来るケースが多く、スイーツ巡りなどが人気を集めそう―というように、国・地域別にターゲットとなる層を設定し、効果的な誘客施策を示している。

（本庄彩芳）

主なターゲットに想定した観光客層と期待される観光メニュー・対策

国・地域	年代・性別	同行者	観光の主な目的	期待される観光メニュー／打つべき施策
韓国	20代	友人、知人	都市部回遊、写真（インスタ）映えする景観鑑賞	足湯、ワイナリー巡り（余市、仁木など）、森林セラピー、シラカバ樹液採取体験／SNSでの発信強化、自然を活用したリラックスできる体験メニューの開発
台湾	20～30代、女性	友人、知人	都市部回遊、祭りやイベント参加	スイーツ巡り、チーズ工房、御朱印・神社、和風レトロカフェ（函館）／SNSでの発信強化、公共交通機関の情報発信・手配方法のサービス拡充
タイ	30～40代	家族（両親・子ども連れ）	自然景観・食	御朱印巡り、おばんざい賞味、染め物体験（旭川）／秋の誘客強化に向けた果物狩りや紅葉などのメニュー開発、Wi-Fiの環境整備
シンガポール	40代	家族（子ども連れ）	自然景観・体験	熱気球体験、犬ぞり体験、マウンテンバイク体験（ニセコ）／旅行上級者に対する季節限定の特別な体験メニューの開発、ガイドによるストーリー性ある解説

観光庁や道などが公開しているデータをもとに消費動向などを分析した。対象とした国・地域は個人旅行が主流でニーズが多様化しており、昨年度の来道外国人客の延べ宿泊数では半数を占める。団体旅行が主流の中国は対象にしなかった。

韓国で主なターゲットとしたのは20代の友人同士で、札幌圏や富良野エリアの景色を見て回るケースが多いと指摘。後志地方でのワイナリー巡りや、オホーツク地方での森林セラピーなども観光メニューとして期待できると提案した。また会員制交流サイト（SNS）で情報収集する傾向が強く、インスタグラムなどでの発信が効果的だとした。

機構は今年4月にマーケティング部を新設し、市場分析に力を入れている。6～7月には、監査法人トーマツ（東京）などと連携し、道内の市町村や観光団体を対象に、外国客誘致における課題を調査。回答した100団体のうち、効果的な誘客ターゲットの設定や、プロモーションができているのは2割にとどまっているため、今回のリポートを地域に活用してもらいたい考えだ。

栗山潤一マーケティング部長は「個人旅行客の動向がつかみづらくなる中、具体的な戦略を練る時に役立ててほしい」と話す。リポートは機構のホームページで会員向けに詳細版、一般向けに簡易版を公開中。問い合わせは機構マーケティング部☎011・231・6736へ。